

月刊

Vol.36

ちばしや通信



鶴の声／"ときがね"なひととき／企画・イベント情報

鶴の声

本来なら秋真っ盛り、食欲の秋、錦秋に彩られた秋、秋晴れのもとレジャーやアウトドアと計画を立てている方も多いかと思います。しかしながらまだ夏が色濃く残っています。近年の傾向から推移すると、夏から、いきなり初冬という気候の変化が考えられ、気温のアップ・ダウン、体調の管理に十分気を付けてなければならない季節でもあります。

又、先には衆議院が解散され、総選挙を迎えるとしています。各政党とも論点を整理し政策を訴えて行くのであろうと思います。消費税を規定路線で増税するのか、また、その使い道をどうするのかが一つの大きな争点となるようですが、社会保障と税の一體改革、当時の3党合意では、増税分の一部を社会保障の財源にあて、残りを、基礎的財政収支（プライマリーバ

ランス）を早い時期に達成するための財源に充当するということがありました。けれども、介護や子育て等、福祉に携わるものとしては、社会保障の財源に充当して頂いた方が良いかと思われます。ただ、国の借金が1,000兆円を超える状況下では様々な議論の余地はあるうと思いません。

本会も多種の事業を展開していくなかで、現在の社会状況ではなかなか人の確保が困難な状況は続くのではないかと思っています。

私が社会人としての駆け出しひ頃は、高度経済成長期で人手不足の時代もありました。当時、生産性を目指して「少数精銳主義」という考え方が叫ばれていました。時代でもありました。それが、今の時代に当たるがどうかはわかりません。その当時とは人口構造が大きく変化し、「ヒト」「モノ」「カネ」という経営資源が限られているなかで、最

大限の生産性を確保して行くため、「人づくり」は最も重要なことではないかと思います。幕末の志士で教育者でもあつた、吉田松陰の言葉に「同じではない人間を同じにしようとはせず、いわゆる、その人の優れた才能を育てることに努めるべきである。」とあります。

本会も各拠点によつても異なりますが、世代がバランスよく整つているところもあれば、若い世代が多くいる職場もあります。それぞれの拠点によつて抱えている懸案は違つても、共通して言えることは、中堅職員の指導力の強化や、ここ数年で入職してきた職員の育成等をしっかり行つて行かなければならぬと思っております。

今後、専門家の意見をお聞きしながら、人材育成に力を注いで行きたいと思っておりますので、関係各位のご支援とお力添えをよろしくお願い申し上げます。（総合施設長 齊藤 操）

ときがね な ひととき

分！とても頼もしかったです。応援に行かれた利用者さんも皆さん楽しそうでした♪そしてお祭りに参加されていた大学生とみんなで写真を撮りました。

公園の葉も日ごとに赤や黄色に彩りを増していますが、皆様

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鶴嶺の家（高齢者・障害者）

さて、今月は岩崎のお祭りがありました。東金市在住ではない私は、東金市のお祭りの多さにとても驚いています。他事業

所のありさが参加していたので、その日いらしていた鶴嶺の利用者さんと応援に行つてきました。鶴嶺の利用者でもあるHさんは、顔を真っ赤にしながら声を出し、「鶴嶺のみんなの分まで頑張るからね！」と気合十

やつと涼しくなり、散歩に出かける回数も多くなつていま
す。のんびりと平和に過ごせた
らしいなあと思うこの頃です
ね！季節の変わり目、皆さんも
お体には十分お気をつけください
ませ！

ンドスピナーを回すのもお手の物!! クルクルと上手に手の上で転がして楽しそうです。Mくんも、机の上で高速回転させたりと、色々な遊び方を発見していました。

前から若者に流行中のハンドスピナーがブームです。ただ手の上で回すだけというシンプルなオモチャなのですが、今世の中ではすごく流行っているみたいですね。Aさんはもともと紐をくるくる回すのがとても上手で

に彩りを増していますが、皆様もお変わりなくお過ごしでしょ

程を見せて頂きました。皆、割
と静かに聞くことができ、気
になつた事は質問していまし
た。みんな、ヤクルトの容器が
できるところや、その容器にヤ
クルトが入るところを見て「す
ごい！」と言つたり、ニコニコ
しながら食い入るように見てい
ました。その後は四街道総合公
園でみんな楽しく遊んできまし
た。



小学生の子は、注文や会計を自分でしました。練習をしてから行つたので上手にできています。

9月16日、ヤクルト工場へ見学に行きました。工場見学の前に四街道のイトーヨーカドーのフレードコートにて、好きな物を注文し、みんなで食べました。

また、新たな取り組みも始めました。曜日ごとに運動や音楽、おやつ作り、工作、買い物など、子ども達が楽しめるものや色々な経験を積めることをやっています。まだ始めたばかりで、試行錯誤していますが頑張っています。

ぽけつと

日が落ちるのも随分早くなり秋の訪れを感じる今日この頃。子ども達も新学期が始まり、早寝早起き生活が始まり一ヶ月。なかなかリズムが戻らず、ぽけつとへ帰つて来て眠たくになります。子ども達にとつてぽけつとが第2のお家のようなくつたりと過ごせる環境をこれからもつくつていきたいです。

少しずつ普段の生活リズムを取り戻し、有り余る体力で公園で元気に走り回つて遊ぶ子ども達。最近は、外に出るとすかり秋模様です。「トンボがいる」と追いかけたり、重なる落ち葉を踏みしめたり、「ドングリみつけた」とドングリに顔を描い、みんなでドングリを拾



きました。一つ一つに個性があり、とても可愛いたつた一つのドングリの完成です。秋は沢山の自然に触れ合う事ができ、また過ごしやすい季節なので、外で体を動かしながら秋の味覚や自然と触れる体験をしていきます。

そして今年もハロウインの準備を子ども達と一緒に始めます。「ただいま」そして真っ直ぐソファーヘゴロンと…。その姿を見て、今日も頑張ったねとそつと優しく見守つてあげたくなります。子ども達にとつてぽけつとが第2のお家のようなゆつたりと過ごせる環境をこれからもつくつていきたいです。

電柱や反射鏡、交通標識など生活や安全に必要とされているものの設置の仕方が逆に危ないという事が多くみられます。安全を大前提に設置されるのは大切な事ですが、安全を意識しうる事が逆に障害になる事も多いのではないかと支援をしながら思いました。

身近なものの中に意外と危ないと思われるものが多くあります。そのため起てる事故も多くあるので、身近な道路や公園などを見てみると、これって危ないかな?というものが見つかるのではないかでしょうか。

この時期は外に行く支援の時に歩きやすい季節ですが、支援の仕事で外に出ていると気づくことがあります。それは、安全のために設置している縁石などが、逆に障害になつて歩きにくくしている事です。安全のために設置した縁石が歩道を狭くして歩きにくくする事があり、考えさせられる事がありました。

今この時期は色々とお出かけしやすい季節です。ケガに気を付けてながら心から楽しめるお出かけをするために、また楽しい支援にするために、そのようなところを前もつて調べる事も大切だと思います。



サポートセンタースピリッツ

そのことをあまり認識していないために起てる事故も多くあるので、身近な道路や公園などを見てみると、これって危ないかな?というものが見つかるのではないかでしょうか。

街かど福祉相談室ると

蝉の声から鈴虫の音色に変わり、確実に秋へと移行していくます。

秋といえば、スポーツ、芸

術、読書など色々連想されま

す。今や読書も電子媒体でとい

うのも珍しくなく、会話もメー

ルやラインでという方も多いで

しょう。使用する言葉によつて



かりではなく、思いと裏腹な言葉を乗せるのが上手い人ばかりではなく、行動、態度、視線、前後の状況など色々な観点からその人の思いをくみ取ることは信頼関係を築いていくためにも必要なことだと思します。

方でのくい違いは生じてくるものです。自分はそんなつもりで言つたわけではないのに…という経験は少なからずあると思います。

赤ちゃんは泣いて自分の思いを伝えます。お母さんは、ミルクかな？オムツかな？それともどこか痛いのかな？と赤ちゃんの思いをくみ取ろうとします。言葉を発するようになると、言

ハンドワーク（生活介護）

だいぶ涼しくなり過ぎしやすくなつきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

先日、みんなでバス・電車の

旅と外食をしてきました。大網

にある大里綜合管理さんの棚ショップに商品を置かせて頂いているのですが、そちらで売上の頂戴と茶話会に参加してきました。お出かけはやっぱりみなさん楽しいのか朝からハイテンション！循環バスはハロウィンの装飾がしてあり、そんな車内を見てIさん「かぼちゃ！おばけ！」とニコニコでした。そんなIさんを見て「声！声！」と注意するHさん。Hさんの意外な出方にスタッフもびっくりでした。

ひとりひとり切符を買い、みんな笑顔で電車に乗りこみました。大網駅からは徒歩で大里へ。到着すると、茶話会の席に付いたのはHさん、発言しないもの



のマダム達の話に傾き違和感なく話の輪に入つっていました。昼食はおとなりデニーズで、各自物を選びました。朝からデザートも視野に入れていたAさん、

食事を決める前にデザートを指したCさん、ご期待に応えデザートタイムもね^(^_-)

その後、駅周辺を散歩し2本も電車に乗り遅れバタバタしましたが、みなさんの笑顔にほっこり帰つてきました。今後もこんな機会を作つていきたいと思います。

ハンドワーク（就労継続支援B型）

金木犀の香りが風に乗つて届く季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

10月に入つて急に寒さが厳しくなり、ハンドワーク就労では咳や鼻水の方がチラホラ見受けられるようになりました。熱は出でていないものの、作業はちょっと取り組みづらそうです。かくいう筆者もなかなか咳がおさまらず、直しきるまでに2週間近くかかりました(^^)

皆さんもお体にお気をつけて！
そんな風邪が流行り出す数週間前に、ハンドワーク就労は生活介護の方々と一緒にお蛇ヶ池にお散歩に出かけました！まだまだ暑さと湿度の高い時期だったので、半周を歩き終え、皆で一呼吸ついている時に池を渡つて吹き抜けた風が心地よかつたのが印象的でした。休憩中に思いのくつろぎ時間を過ごしていた皆さんの中でも、普段あ



ありさ（就労継続支援B型）

まり長距離を歩かないAさんはどうかな？嫌がつていないかな？と不安になり話してみると、どうやら運動が大好きとのこと!!運動会や今回の長距離お散歩も（苦手な虫はあるものの）どうやら楽しんでくださつ

ていたようで、ちょっと嬉しそうにお話をしていました。そのあとは、好きなアイドル当てをしていましたが、なかなか当たらずにお散歩を再開！帰りの車にたどり着いても当てることが出来なかつたので、次こそは正解！の笑顔をみられるようにお散歩も、お話もチャレンジしていくたいと思つたひとときでした。

まだ夏の日差しが残りながらも、少し曇つていた先月の始めのことです。私たちの事業所がある地区で、二年に一度のお祭りがありました。前回は初めて参加させてもらつたこのお祭り。今回は朝から昼過ぎまで

祭りがありました。前回は初めて参加させてもらつたこのお祭り。今回は朝から昼過ぎまで

一緒に盛り上がり、名前を覚えてもらつていてるメンバーもいました。地域の人たちに少しづつでも溶け込めているのを実感できた一日でした。

地域のお祭りと一緒に参加して下さつた保護者の方々も一日お疲れ様でした。

休憩のときに、お神輿を担いでいる青年団の人たちに交じつ



五根の家（グループホーム）

今年の夏は晴れの日が少なくて、雨の日が大変多かった夏でしたが、熱中症になる事も無く、この夏を全員で乗り切る事ができました。

さてグループホームに9月4日から新しい方がご入居されましたので紹介致します。

85歳女性Kさんです。皆さん90歳代の中、唯一の80歳代です。先日は、スタッフと一緒に歌を歌つたり、ぬり絵も自分で色を選ばれ、とても綺麗な仕上がりでした。杖なしで廊下を歩かれるぐらいお元気で、お食事もご自分の歯で召し上がっています。

先日、敬老の日の昼食は、豪華なお弁当に感謝の気持ちとお祝いの気持ちを込めたカードをお送りしました。1人ひとり写真撮影し、お祝いさせていただきました。お弁当のご飯のお赤飯、15時のおやつの黄粉おはぎ



は皆さんに大好評でした。Kさんも笑顔が多い1日を過ごされ、私たちも至福な時間を一緒に過ごすことができました。

これから、Kさんと一緒に時間が多く過ごすことで、Kさんが今なにを想い、何を望んでいるかを探り、グループホームで暮らすことができるよう私たちも工夫していこうと思います。

平和な日常が脅かされている現在ですが、戦争が始まることがないよう祈りながら、皆さんのが穏やかな生活を見守っていきたいと思います。

夏の時期には多くのイベントがあり、お年寄りの皆さんがそれぞれに楽しめるものに参加されました。YASSAフェスティバルではサンピア前での踊りや中央公園内でのイベントを観たりしました。無料で配布していました。無料で配布していたうちわや風船をたくさん頂き、童心に戻ったように笑顔で受け取っていました。また屋台で買ったたこ焼きも食べました。他にも大和地区の「ふれあい大和祭」や台方地区の「夕涼み会」にお声掛け頂いて参加したり、岩崎地区の「菅原神社のお祭り」も沿道で見学しました。

五根の家（小規模多機能ホーム）

た。お祭りに参加していたスタッフと笑顔で記念撮影をしています。事業所内でもボランティアさんによる、トランプ・マジックを観たり、歌を歌つたりと楽しい時間を過ごしています。

様々な場面でお年寄り一人ひとりの笑顔を見ると、スタッフ自身も嬉しい気持ちになります。そんな時間を大切にしていきたいと思っています。^(^_-)

一方で日々、必要な支援に応える事に精一杯でスタッフ自身に気持ちの余裕が持てなくなる時があります。スタッフもお年寄りの皆さんと一緒に生活を楽しめる事を大事にしていきたいと思っています。その為には、限られた条件の中で目の前のお年寄りにとつて一番大切な事は何かを皆で考え、それに向けてご家族や地域の方と協力して行つていく事が大切だと思っていきます。あきらめずにコツコツと毎日を積み重ねていきたいと思います。

こころん

木々の葉も美しく色づいてきました。

いろいろな理由で自宅から出ることが難しい人からの相談を受けることがあります。

この秋、そのような方の作品をメールでのやりとりで作成し

イベントで展示・販売してみよ

うという試みを山武市の生活困窮者自立相談支援事業所と一緒に行う計画があります。作品を手に取り喜んでくれる人がいたら、そのシーンを本人に写真や動画で見てもらい間接的に社会との関わりを持つてもらおうと考えています。結果はいかに…！？

秋のフードドライブが始まっています。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。こころんにも地域の方からのご寄付や、フードバ



ンクちばから預かつた食料があり、必要に応じお渡しています。職員で話し合い「ただお求めに応じるだけではその方の問題解決にならない。2度目のお求めからはじっくりお話をし、どうすれば状況が改善していくかを一緒に考える。」というお約束をしたうえでお渡ししています。

しっかりと食べられるのは給食だけという子どもも現実にたくさんいます。実りの秋、空腹を我慢する人が少しでも少なくなるように頑張りたいと思います！

しつかり食べられるのは給食

だけという子どもも現実にたくさんいます。実りの秋、空腹を我慢する人が少しでも少なくな

るよう頑張りたいと思います！

Rちゃんは、「どんぐりコロコロ♪」と歌いながら、どんぐりを嬉しそうに拾っています。

爽やかな風を感じる季節になりました。食べるのことの好きな子ども達が待ちに待った食欲の秋がやってきました！

子ども達のじいじやパパが丹精込めて作った新米をみんなで美味しくいただきました。大変ごちそうさまでした。

秋の自然に囲まれて、お散歩しやすい時期になつてきました。子ども達も公園で、赤や黄色になつた葉っぱを見つけたり、どんぐりを拾つたりして樂しんでいます。

Hくんは、動いてるメダ力をよく観察しています。まさに生き物係です！生き物が大好きな子ども達は、メダ力にも興味を持ってくれました。

いくりんの花壇もゴーヤやトマトにサヨウナラして、60日白菜とステイックブロッコリーを植えました。みんなで「おいしくなれ」と願いを込めて一生懸命育てます。

また、体調を崩しやすい季節でもありますが、みんなで元気いっぱい秋を満喫していきたいと思います。

Rちゃんは、「どんぐりコロコロ♪」と歌いながら、どんぐりを嬉しそうに拾つています。Kちゃんは、拾つたどんぐりを「どうぞー！」とスタッフに渡してくれます。子ども達の中で、どんぐり拾いが密かなブームになつています。

夏にカブトムシやザリガニを飼いましたが、この度、新た



いくりん

にメダ力が仲間入りしました。ちっちゃくてかわいい赤ちゃんもいます♡

Hくんは、動いてるメダ力をよく観察しています。まさに生き物係です！生き物が大好きな子ども達は、メダ力にも興味を持ってくれました。

ゆーすぽーと

秋晴れの下、子どもたちの飛び切りの笑顔がはじけていた。ゆーすぽーとの日常の活動中、「メンドクサイ」、「ツカレタ」、「ヤリタクネ」と否定語を連発させているKくんの笑顔は最高だった。態度の表裏のカイ離がそう言わせているのではなく、事実最も輝いていたのだ。顔中に汗を吹き出させ、夢中でさつま芋を掘り、落花生を掘った。大きな芋の土を取り除け簡単に掘れる状態にして、「これ掘つていいよ」と小さな子に呼びかけている姿は、普段のトラブルメーカー振りを微塵も感じさせない。農園主への「ありがとうございました」のあいさつも大きな声で心より発せられていて、心地よく聞こえた。家庭ではなかなか体験できないことだつたからか、清々しい天気模様か、土に触れる行為だつたらか、収穫する喜びか、とにかく

くどの子もいい顔だつた。
ゆーすぽーとでは、学習支援、居場所・食事の提供とともに体験活動を重視し、活動の柱としている。学力も生きる力も経験がバックボーンとなつているとを考えているからだ。

八月にはブルーベリー摘み体験と収穫したブルーベリーをジヤムにする経験もした。同じく八月には木工教室も実施し、ステンシルを施したかわいい作品を仕上げた。これからもそば打ち体験、ケーキ作り、餅つき大会、書家を迎えての書道教室、太巻き寿司教室、みそづくり体験などが続く。

介護している方々が集まつて日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。
日時…11月9日（木）
会場…ふれあいセンター
主催・連絡先…
穂垂るの会・井上
（090-7171-1701）

穂垂るの会
（090-7171-1701）
2階 創作室
経費…200円（昼食代）
ヨガサロン

穂垂るの会

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありき」の2階で開催中。

開催日

11月1日（水）
11月15日（水）

※興味のある方はご連絡ください。

ありさ（50-0362）

企画・イベント情報

ちばしや通信（Vol.36）



発行日：2017年10月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630

編集後記

ゆーすぽーとでは運動会に一喜一憂する子どもたちの姿が多く見られ、羨ましく思いました。各々の学校でどんな違いがあるのかと運動会談義が始まったり、応援歌を披露してくれたりとても賑やかな9月でした。（S）

一気に寒くなりましたね。私も私の周りでも急に体調を崩した方がとても多いです。秋冬は食べ物がとても美味しいので食べ過ぎないようこのシーズンを満喫しようと思います！（W）